

第36回 広島文化賞受賞者

個人の部 (美術・造形)



こし もと えつ じ
腰本悦二氏
東広島市

東広島市在住の造形作家。

広島大学教育学部修了後、洋画家の福井芳郎氏に師事、小学校教師、校長を経て定年後に本格的に制作活動に入る。

広島県立美術館で開催された「広島芸術学会芸術展示」や東広島美術館で開催された「トリエンナーレ東広島」などへの出展や、技術性・芸術性・創造性が他に類をみない「ゆめ水車」を展覧会や芸術祭に出展するなど、積極的な活動をしている。

2011年には東広島市高屋町造賀小学校校庭に「ゆめ水車」を設置し、全校児童に特別授業を行うといった地域貢献も行っている。

個人の部 (舞踊・邦舞)



はな やぎ まさ とよ
花柳雅豊氏
広島市

広島市在住の舞踊家。

4歳から日本舞踊の道に入り、15歳で花柳雅豊の名を襲名、1960年には、呉市、広島市、坂町で稽古場を持つとともに、長年にわたり、花柳会の要職を務めている。

活動範囲は国内にとどまらず、米国や韓国、ヨーロッパなどへ文化芸術親善訪問などを行っている。

その他、文化教室や保育園での講師、けんみん文化祭ひろしまでの審査員を務めるなど、地域での伝統芸能の継承にも貢献している。

1983年 広島市教育長賞、2012年 広島市政功労表彰、2013年 呉市表彰を受賞。

広島市文化協会日舞会会長、日本舞踊花柳会中国支部長であるとともに、流派を超えた公益社団法人 日本舞踊協会広島県支部の初代支部長としても活躍している。

団体の部 (伝統・民俗芸能(神楽))



ひばこうじんかぐらほそんかい
比婆荒神神楽保存会
庄原市

所在地 庄原市、構成員45人、活動歴54年。

400年以上の歴史ある古式を留めた貴重なもので、広島県内の神楽においては唯一国の重要無形民俗文化財の指定を受けている比婆荒神神楽について、毎年行われる小神楽や式年の大神楽を行うほか、町内外で行われる神楽競演大会や文化祭などに出場するなど、伝統文化の振興や観光振興に大きな役割を果たしている。

また、2001年からは、地元の小・中学生及び高校生を対象とした「比婆荒神神楽子ども神楽塾」を開講するなど、荒神神楽の保存継承を図るため、後継者の育成に力を注いでいる。

2002年エネルギー伝統文化賞 受賞、2004年広島県地域文化功労者表彰 受賞。

広島文化賞 贈呈の状況

回	開催年月日	受賞数		回	開催年月日	受賞数		回	開催年月日	受賞数	
		個人	団体			個人	団体			個人	団体
第1回	昭和55年10月21日	11	4	第19回	平成10年10月28日	2	1				
第2回	昭和56年10月21日	8	4	第20回	平成11年10月13日	2	—				
第3回	昭和57年10月14日	5	6	第21回	平成12年10月25日	2	1				
第4回	昭和58年10月20日	7	6	第22回	平成13年10月18日	2	1				
第5回	昭和59年11月6日	6	6	第23回	平成14年10月24日	2	1				
第6回	昭和60年11月13日	5	5	第24回	平成15年11月21日	2	1				
第7回	昭和61年12月3日	5	5	第25回	平成16年11月16日	2	1				
第8回	昭和62年11月2日	3	4	第26回	平成17年12月3日	2	1				
第9回	昭和63年11月29日	4	4	第27回	平成18年11月28日	2	1				
第10回	平成元年11月20日	4	3	第28回	平成19年11月26日	2	1				
第11回	平成2年11月14日	3	6	第29回	平成20年11月18日	2	1				
第12回	平成3年10月25日	6	6	第30回	平成21年11月26日	2	1				
第13回	平成4年10月27日	4	2	第31回	平成22年11月22日	2	1				
第14回	平成5年10月22日	3	3	第32回	平成23年11月14日	2	—				
第15回	平成6年10月8日	3	3	第33回	平成25年11月19日	1	1				
第16回	平成7年10月15日	2	1	第34回	平成25年11月25日	—	1				
第17回	平成8年10月19日	2	1	第35回	平成26年11月26日	2	1				
第18回	平成9年10月15日	2	1	第36回	平成27年11月16日	2	1	合計	個人116	団体86	



平成27年度ひろしま文化功労者表彰 受賞者



うら へ とし たか
ト部 俊孝氏
(美術・洋画)

福山市

福山市在住、洋画家。66歳。

1983年 福山市出身の画家 藤井軍三郎氏に師事し、油絵を始める。以後、福山市美術展や光風会、日展などへの出品をつづけ、2006年 第38回 日展特選（『画像の静物』）を受賞。

1992年 福山市役所の新庁舎竣工記念として作品を寄贈。その他、2003年から始まった小学生から年配の方を対象とする「世代間交流絵画教室」や保育所や文化センター等で、長年にわたり講師として絵画指導を行うなど地域に貢献している。

現在、福山美術協会 理事。日展会友、光風会評議員としても活躍している。



よね まる よし かず
米 丸 嘉一氏
(地域文化)

三次市

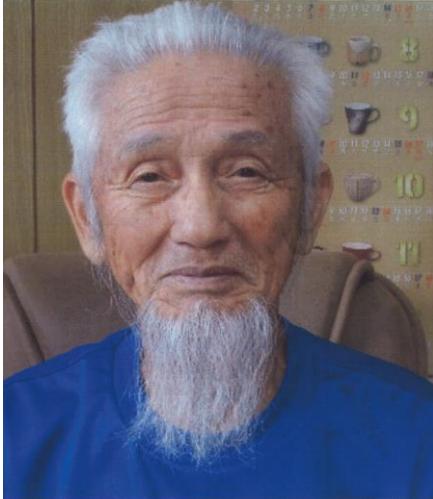
三次市在住。79歳。

高等学校教諭として勤める傍ら、三次市地方史研究会に発足当時から参加、地域の歴史調査・研修を行う。

1998年からは同研究会の会長として、会員の調査・研究についての指導を行うとともに、三次市民への歴史発表等を行い、歴史に関する本を執筆するなど、三次史の普及に努め、現在も顧問として後進への助言や指導を精力的に行っている。

2008年からは4年間、三次市文化財保護委員会委員長として委員会の運営を行うとともに、文化財の掘り起しや指定を行い、三次市民の生涯学習の推進などに貢献。

2012年 広島県文化財協会表彰、2014年 三次市善行表彰を受賞。三次市を中心とした広島県北部地域で活動している。



ほり かわ ひろし
堀川 洋氏
(美術・陶芸)

安芸郡坂町

庄原市生まれ、安芸郡坂町在住。94歳。

1985年 定年を機に庄原市に帰郷し、生活茶器等を焼いていた山本氏に師事。陶芸工房を建てて1988年に陶芸家としての活動を開始。

1988年から93年までは庄原市において、1994年からは坂町小屋浦地区において、2004年からは呉市宮原町、広島市安芸区矢野町においてそれぞれ陶芸教室を開講し、現在も陶芸指導にあたっている。陶芸教室では生徒から謝金は受けず、光熱費も自己負担で、材料費のみ徴収しており、生徒の作陶展を1996年、2005年、2012年に坂町において開催している。また、地域の子供会においてボランティアでの陶芸指導も行っている。

生徒の中には窯を持ち、陶芸指導を始める者も出てきており、地域の文化振興に大きく貢献している。

ひろしま文化功労者表彰 贈呈の状況

年度	開催年月日	受賞数
平成25年度	平成25年11月25日	—
平成26年度	平成26年11月26日	—
平成27年度	平成27年11月16日	3
合計		3

